

パラアート(障がい者アート)国際交流活動事業

公益財団法人 日本チャリティ協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-18-12柳田ビル3階

助成事業の概要

障がい者の芸術「パラアート」活動の持続可能な発展を目指し、SDGs に照らし合せたアクセスビリティな WEB の活用と作品を通じた人の交流により、障害者の芸術文化の環境整備と活動支援を推進し、多様な社会へ繋げていきます。

対象：障害児及び障害者

具体的内容：1. 主体事業 「2024 パラアート TOKYO」第11回国際交流展の開催

障害者（児）のアート作品を集め専門家による選考を通じ、障害特性に応じた質の高いパラアート作品を発表展示して、芸術文化価値の認識を拡げます。賞を設けて制作活動を奨励します。

（開催時期）令和6年11月13日～17日（会期5日間）

（開催場所）としまセンタースクエア（豊島区庁舎1階）

連動事業(1) 周知の拡大と「パラアートバーチャルギャラリー」（WEB 連動型展覧会）の設営

(2) パラアートワークショップ（講習）開催

対象障害者、障害児、児童、健常者

会場での講習とともに IT を利用したリモート対応

事業の成果

第11回目を迎える「2024 パラアート TOKYO」では国際交流展の作品部門に造形美術を加えてより多くの障がい者アーティストに向けて参加を促

し、専門講師によるワークショップは想像力を養う新たに造形とジュニア層へ向けたパソコンを使ってコンピューターグラフィックの教室を行い、どなたでも WEB から参加でき、学びの機会の提供により多様な社会へ向けて開催いたしました。

「2024 パラアート TOKYO」第11回国際交流展

（開催日時）令和6年11月13日（水）～17日（日）会期5日間10時～18時

（開催場所）としまセンタースクエア（池袋一豊島区役所1階）

（来場者数）延べ 1,039 人

（作品展示）209 点（応募数 国内より 623 点、外国 138 点団体推薦作品含む）

絵画作品 日本 112 点 ジュニア 17 点 海外 33 点 ジュニア 9 点 ガンバ展より 5 点

書作品 日本 12 点 海外 9 点（書画含）造形作品 日本 12 点

（参加国）11 か国 1 地域（香港）

本活動を通じたアート作品の芸術的価値の認識向上は、収益に繋がり障害者の自立を助長し、入選作品、入賞作品を組織や企業の CSR 事業と繋げ、SDGs の普及に役立てます。

WEB での展示（バーチャルギャラリー）の設営は会場に来れない方にも作品の鑑賞機会を提供できて、WEB の活用は障害者（障碍児）の活動範囲を拡げ若い親世代にも受け入れやすくし周知の拡大と参加を促すことができます

表彰式：パラアート賞（25 名）を設けることにより作家の向上心が芽生え、活動意欲が湧きます。

入選作家や多くの関係者、都議員が主席して表彰式が盛大に行われました。

専門員によるワークショップでは交流、共感、向上と認識を高める学びの機会を提供

造形教室

開催日時 2024年11月16日(土)13時30分～15時

開催場所 としまセンタースクエア（池袋一豊島区役所1階）

内容 造形作品 友永詔三氏考案「森のジージー」の制作指導

参加人数 会場 計15名（先着順） WEB 参加者多数

CG・イラスト教室

開催日時 2024年8月31日(土)14時～16時、
2025年1月25日(土)14時～16時

開催場所 戸山サンライズ会議室（日本障害者リハビリテーション協会内）

内容 デジタル・イラスト

講師 田端聡子（日本アカデミック学園講師）

参加人数 会場 計15名（先着順） WEB 参加者多数

成果の広報・公表

<「2024 パラアート TOKYO」第11回国際交流展広報等>

1 日本チャリティ協会ホームページ、2024 パラアートギャラリー新設掲載

- ・ 全出品作品等の紹介、広報活動

2 日本チャリティ協会広報誌「チャリティ・ニュース・クォーターリー」配付

- ・ 国際交流展の開催概要掲載による広報活動（発行部数：1,200部）

3 国際交流展報告書（図録）作成

- ・ 国際交流展図録送付による関係諸団体等へ

の広報活動（発行部数：500部）

4 国際交流展の新聞掲載等

- ・ サッカーチームガンバ大阪のホームページにおいて、パラアート活動の紹介
- ・ 大阪毎日放送のパラアーティストのテレビ取材

5 「ガンバ大阪 × パラアート関西」でパラアートの展示

- ・ ガンバ大阪スタジアムでの展示及び広報活動

期日：令和6年9月25日(土) 令和6年10月5日(土)

今後の展開

多様な社会へ向けての障害者、障害児の社会参加へはサステナブルな芸術活動支援が必要とされています。

今後も障害のある方が芸術文化活動を通じて、社会とより広く関わりを持てる活動環境を提供し、その自立と社会参加を継続支援して、障害の有無に関わらず、お互いを尊重しながら共存共生の社会へ向けていくコンセプトで開催いたします

WEBの活用を広げて SNS やインスタグラムを通じて多くの方々に周知や参加する機会を増やし、生活文化としての認知、また、芸術作品としての価値の認識、障害者の自立に向けた取り組みとして障害者の収益事業に繋げる機会を作りサステナブルに障害者の芸術活動環境の支援をして多様な社会へ向けます。

国際交流事業（「2025 パラアート TOKYO(仮称)」国際交流展）の開催

会 期：2025年10月予定 [5日間]

場 所：芸術劇場 ギャラリー